

浜岡原子力発電所 廃棄物減容処理装置建屋における  
第一焼却炉ダストモニタの指示上昇について

2015年7月28日

発生場所	廃棄物減容処理装置建屋第一焼却炉（放射線管理区域内）
発生年月日	2015年7月28日
発生時の状況	<p>2015年7月28日14時22分、停止中の廃棄物減容処理装置建屋第一焼却炉のダストモニタ<sup>※1</sup>指示値が、通常約2.5cps<sup>※2</sup>のところ、瞬間的に指示が上昇し、警報が点灯しました（警報設定値：250cps）。指示値は、直ちに通常値に復帰し、当該警報は消灯しました。</p> <p>発電所敷地内に設置しているモニタリングポストの指示には有意な変動はありませんでした。 本事象による外部への放射能の影響はありませんでした。</p> <p>当該放射線モニタに設置されているフィルタを取り外し、詳細に放射能測定をおこなったところ、放射性物質は検出されませんでした。 今後、計器の点検をおこない、適切に対応してまいります。</p>
お知らせ基準	<p>「表 1-5 気体状又は液体状の放射性廃棄物の計画外の排出があったとき（排出量が原子炉等規制法に基づく報告基準に至らない場合）、あるいは排気筒モニタ、放水口モニタまたはモニタリングポストの警報が点灯したとき、または排気筒等のガスサンプリングで放射性物質を検出したとき。」に該当します。</p>

※1 廃棄物減容処理装置建屋第一焼却炉のダストモニタとは、廃棄物減容処理装置建屋第一焼却炉排気筒から放出する排気中の放射性物質の濃度を連続して測定する装置です。

※2 放射性物質の濃度は、カウント毎秒（count per second の略）という単位で表示しています。これは、1秒間に測定された放射線の数を示しています。

以上